

北風と太陽

むかしむかしのお話です。

北風と太陽は、いつも自慢ばかりしていました。

「わしの方が偉いんじゃ」

北風が言います。

「わたしの方が偉いと思いますよ」

太陽も負けません。

「それなら、勝負しよう」

そこへ、旅人がやってきました。

旅人は分厚いマントを着ています。

「さきにマントを脱がせた方が勝ちじゃ」

北風が前に出ました。

北風は激しく息を吐きました。

冷たい風がびゅうびゅう吹きます。

「さむい、さむい」

旅人は、両手でぎゅっとマントを抑えました。

マントはびくともしませんでした。

「今度はわたしの番ですよ」

太陽がにこにこ笑いました。

あたりにキラキラ光があふれます。

すると、どうでしょう。

「あつい、あつい」

旅人は、マントをするりと脱いだのです。

「この勝負、わたしの勝ちですね」

太陽がにっこり笑うと、あたりはぽかぽか春の空気になりました。